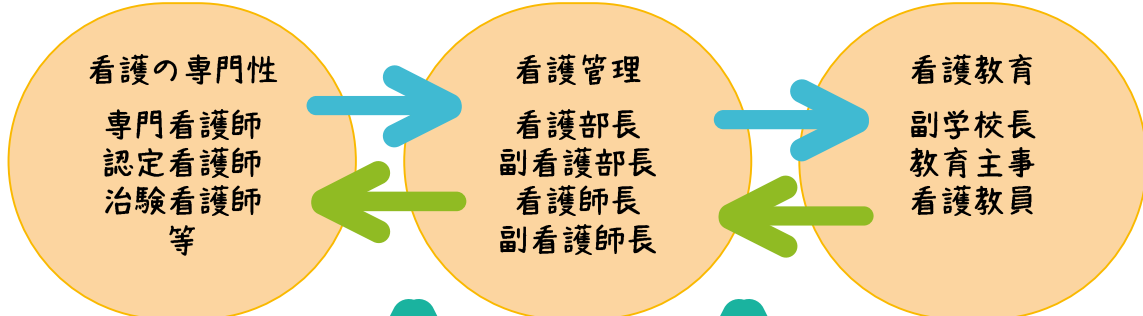


能力開発プログラム

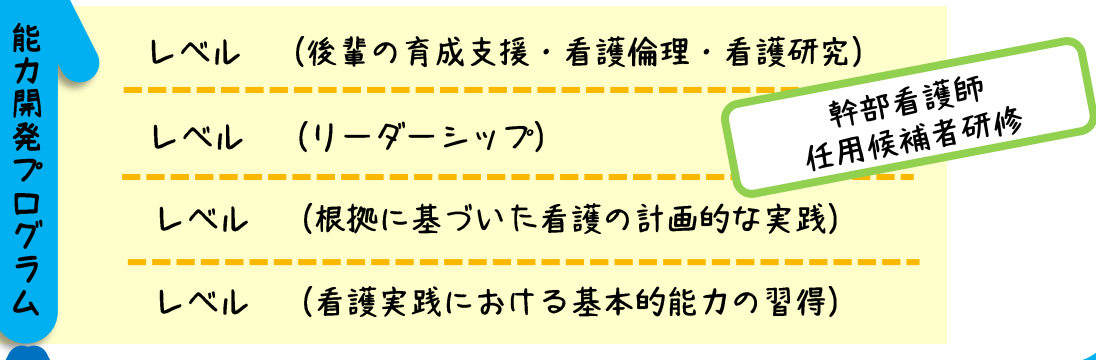


大牟田病院が求める看護師像

1. 社会人として、組織の一員としての基本的な姿勢・態度を身に付けた看護師
2. 専門職業人として高い倫理観を持ち、看護を実践する上で倫理的問題を常に意識しながら行動することができる看護師
3. 対象一人一人に適した看護展開能力を習得させ、その能力を発揮しながら実践できる看護師
4. 患者が安全・快適に療養できる環境かを判断し整えることができる看護師
5. 専門的な知識・技術の習得を図ることを目的に、常に自己研鑽し自分を高めることができる看護師
6. 後輩の段階に応じた、指導・教育・共育を行うことができる看護師
7. 医療チームの一員として多職種と協働しながら、患者の意思を尊重した看護を実践できる看護師
8. 看護実践のなかで研究的な取り組みができる看護師

ケアセミナー

全職員対象研修



看護基礎教育 (看護大学、専門学校)

看護職員のキャリアラダー

レベルⅠ

目的

専門職業人としての自覚を持ち、看護実践者としての基本的な能力を習得する。

目標

1. 職場に適応できる。
2. 看護基準・手順に沿った看護を実践する。
3. 多様な価値観・信条や生活背景をもつ人を尊重した行動が取れる。
4. 日常の看護実践の中で、支援を受けながら看護行為の振り返りができる。

レベルⅡ

目的

看護実践者としての役割と責任を自覚し、根拠に基づいた看護を計画的に実践する。

目標

1. 患者・家族の反応を受け止め、根拠に基づいた看護を実践できる。
2. 自己の課題を見出し、文献学習する。

レベルⅢ

目的

看護実践者としての役割と責任を持ち、病棟の課題や看護の質の向上に向けて主体的に取り組むことができる。

目標

1. 看護実践者としてリーダーシップを発揮しチームメンバーへ働きかけることができる。
2. リーダーシップが発揮できる取り組みを通して、看護師としての自己の役割、課題を見出すことができる。
3. 自己の看護実践の意味づけを行い、後輩の学習を支援できる。

レベルⅣ

Aコース：看護倫理・後輩育成支援
Bコース：(前期)看護研究文献検索 (後期)看護研究

目的

看護実践の役割モデルとなることができる。

目標

1. 倫理や家族ケアについて学び、倫理的問題の解決に向けて、看護チームのリーダーとして行動することができる。
2. 後輩の指導者としての役割を果たすことができる。
3. 看護研究に取り組むことができる。

レベルⅤ

院外看護研究発表等 自己研鑽・生涯学習

目的

専門性の発揮、管理・教育的役割モデルとなり研究への取り組みができる。

目標

1. 看護研究論文をまとめ、院内外で発表し、投稿することができる。
2. 多様なニーズを把握し、患者の価値観を反映した判断を行い、看護を実践できる。
3. 自部署の課題に対し、他部門と調整しながら解決行動をとることができる。
4. 自己の看護観や価値観に裏付けられた信念や良心に基づき、役割を果たすことができる。